

KIS 国際物流ニュース！ (2020年8月号)

国際物流業務に役立つ 最新情報をお届け！

国際事情、行政、システム、導入事例、多彩な情報からピックアップ



切り花輸入 (2020年4月) カーネーションが健闘！ バラ、ラン、菊は苦戦

ニューノーマルな生活が続く昨今、業界ごとの株価の動きとして、スーパーやドラッグストア、ホームセンター各社の株価が上昇傾向にありました。生活必需品や感染予防グッズはニーズが高く、売上が伸びていることはご存知の通り。その中でホームセンターはガーデニング売り場を併設しているところが多く、実際、ガーデニング売り場の賑わいはこれまで以上でした（巣ごもりで庭のお手入れや花を飾る時間的余裕ができたことが想像できます）。苗や鉢物、土や肥料など多くの方が購入され寄せ植えや庭で癒されていたのかもしれませんが。では国際物流ニュースとして、この時期の輸出入植物、切り花について調べてみました。貿易統計によると4月の輸入額は前年同期比26%減、物流の停滞に加え、需要の低迷があげられるとのこと。バラが68%減、ランが26%減、菊が30%減と軒並み減少しました。その中でカーネーションの輸入額は8.4%減、一桁減で収まりました。カーネーションは輸入切り花の輸入額の3割を占める主要品目であるにもかかわらずです。国内で流通するカーネーションはこれまで国産が首位を占めていましたが、ここ数年ついにコロンビアに首位の座を明け渡しました（現在は国産とコロンビア産の2強状態です）。コロナ禍によりコロンビアからも減便や物流停滞の影響を受けているはずなのにカーネーションだけなぜ減少率が少ないのでしょうか。5月第二週の日曜日は母の日でカーネーションの需要のピークを迎える時期だから？ 休校や在宅でご家族の中でお母さんの負担が増えたので、その感謝のプレゼントでカーネーション需要は減らなかつた？ 実は原因はよくわかりません。母の日の昨年までとの違いは、5月を「母の月」にしようと全国的に働きかけがあり、Mother's DayからMother's Monthとして長期戦としたそうです。その効果があったからでしょうか？

【ウェブセミナー】 電子文書管理 第4回 海貨通関業務システムによる文書の電子管理

今回は通関業務で発生する文書についてその管理をご紹介します。属人化しがちな業務のなかでも書類管理は担当者の管理依存しているのではないのでしょうか。組織での業務遂行のために通関業務の電子文書保存として書類や帳票の閲覧や共有が求められています。作業のスムーズに流すための進捗状況把握もご紹介します。

概要：電子文書管理ウェブセミナー 海貨通関業務システムによる文書の電子管理

日時：2020年8月26日（水）13:30~14:00（ご参加13:00~）

詳細：弊社HPのイベントページ <https://www.kisnet.co.jp/event/1429/>

電子文書管理ウェブセミナー 4回シリーズ

第2回 7/29 ブッキング依頼管理 ソリューション

第3回 8/ 5 ドキュメント管理ソリューション

第4回 8/26 海貨通関業務システムによる

文書の電子管理

KIS

関西総合システム株式会社

<http://www.kisnet.co.jp>